



Contents

- 1 関東大学バレーボールリーグ女子1部昇格が決定！
- 2 東日本大学空手道選手権大会女子団体組手で準優勝！
- 3 三浦賞子准教授「日本歯科理工学会論文賞」を受賞
- 4 2024大学生と話そう会
- 5 2024アカデミーフェスティバル
- 6 学内企業セミナー
- 7 関東地区教育懇談会
- 8 明海スポーツ

体育会女子 バレーボール部

関東大学バレーボールリーグ 女子1部昇格が決定！！



昇格を決めた女子バレーボール部

4月13日から5月19日にかけて行われた「2024年度関東大学バレーボール春季リーグ」女子2部リーグで、全11試合全勝でリーグ優勝を勝ち取り、女子1部昇格決定戦においても勝利を収め創部5年で1部昇格を決めるという快挙を達成した。

春季2部リーグは、全11戦全勝で圧倒的な強さで優勝を収め、続く女子1部昇格決定戦では、春季1部12位の松

蔭大学と対戦し、見事3-0のストレートで勝利し、女子1部昇格という輝かしい結果を残した。

主将の田中希美選手(日本語学科4年)は、「日頃から体育会女子バレーボール部の活動にご尽力いただきありがとうございます。創部当初から目標であった関東バレーボールリーグ女子1部昇格を決められてとても嬉しく思います。今まで

《 春季リーグ(女子2部) 》

- 第1節 vs 平成国際大学(3-0)
- 第2節 vs 中央大学(3-0)
- 第3節 vs 江戸川大学(3-0)
- 第4節 vs 国際武道大学(3-0)
- 第5節 vs 立教大学(3-0)
- 第6節 vs 早稲田大学(3-0)
- 第7節 vs 神奈川大学(3-0)
- 第8節 vs 山梨学院大学(3-0)
- 第9節 vs 大東文化大学(3-2)
- 第10節 vs 都留文科大学(3-0)
- 第11節 vs 敬愛大学(3-0)

関東1部昇格決定戦

vs 松陰大学(3-0)

の練習の成果を出すことができました。次の秋季リーグでは1部上位、そして全日本インカレで日本一をめざしていきたいと思います。今後とも体育会女子バレーボール部の応援よろしくお願いたします」と次への意気込みを語ってくれた。



個人賞を獲得した選手(左から永井、田中、尾崎、都築)

春季リーグ(女子2部)個人賞受賞者

- ◆優秀選手賞: 田中希美選手(日本語学科4年/文京学院大学女子高等学校出身)
- ◆スパイク賞・新人賞: 尾崎崎名エジンネ(英米語学科1年/市立船橋高等学校出身)
- ◆サーブ賞・スパイク賞: 都築愛未選手(日本語学科3年/春日部共栄高校出身)
- ◆セッター賞: 永井いづみ(英米語学科3年/共栄学園高等学校出身)

第60回東日本大学
空手道選手権大会

女子団体組手で準優勝！

5月5日、日本武道館で行われた「第60回東日本大学空手道選手権大会」女子団体組手で、本学体育会空手道部が創部以来初となる女子準優勝という快挙を達成した。

本学は2回戦からで日本体育大学、3回戦は拓殖大学、4回戦では大正大学、準決勝では中京学院大学と戦い、連戦が続くなか見事粘り強さを発揮し勝利を収めた。そして、決勝では惜しくも国士館大学に敗れてしまったものの、準優勝という輝かしい結果を残した。

また、男子団体組手は、2回戦で福

井工業大学、3回戦で東京農業大学を圧倒し、4回戦目に強豪の法政大学相手に1-3と惜しくも敗れ第5位であった。

女子主将の木津歩美選手(日本語学科4年)は、「日頃から応援してくれる皆様に感謝の気持ちを伝えたいです。女子団体は、なかなか結果が出ず、苦しい時でもありましたが、日ごろの練習成果が今大会で発揮できたのだと思います。次は日本一をめざします」と力強く意気込みを語ってくれた。

《女子団体組手》	
2回戦	vs 日本体育大学(2-1)
3回戦	vs 拓殖大学(2-1)
4回戦	vs 大正大学(2-0)
準決勝	vs 中京学院大学(2-1)
決勝	vs 国士館大学(0-2)



表彰式を終えた空手道部

申基喆副学長が2024年度日本歯科保存学会「学会賞」を受賞

5月16日、17日に仙台国際センターにて開催された「日本歯科保存学会2024年度春季学術大会(第160回)」において、申基喆副学長が日本歯科保存学会「学会賞」を受賞し、表彰された。この賞は日本歯科保存学会における学会活動、役員会あるいは委員会における会務に関する貢献が顕著であると認められる者、また、同会の学術的發展に大

きく貢献したと認められる者に贈られる。また、同時に同学会名誉会員として名誉会員証を授与され、申副学長は「この度、学会賞および名誉会員証を拝受し、誠に光栄に存じます。これまでの研究と学会活動への評価をいただき、大変嬉しく思います。今後も歯科医療のさらなる発展に尽力し、次世代の育成にも力を注いでまいります」と感想を話した。



申基喆副学長(左) 日本歯科保存学会より

森一将准教授 (口腔顎顔面外科学分野)

一般社団法人日本有病者歯科医療学会 第33回日本有病者歯科医療学会学術大会

優秀発表賞を受賞

3月8日から9日の3日間、新潟グランドホテルで開催された「一般社団法人日本有病者歯科医療学会 第33回日本有病者歯科医療学会学術大会」において、歯学部の森一将准教授(口腔顎顔面外科学分野)が昨年に引き続き優秀発表賞を受賞した。

この賞は日本有病者歯科医療学会での公募の一般演題の中から、学会賞選考委員会の厳正かつ公平な

審査により、特に優れた発表に対して贈られる。森准教授からは「2年連続で本賞をいただけたことは、日常の臨床研究の成果が評価されたと感じ、大変うれしく思っております。今後も臨床研究に尽力してまいりたいと思います」と喜びの声があった。

◆受賞演題
口腔内異常感症におけるCandidaの関与についての臨床的検討



表彰状を手にする森准教授

三浦賞子准教授(クラウンブリッジ補綴学分野)が「令和5年度日本歯科理工学会論文賞」を受賞



三浦賞子准教授(中央)

歯学部の三浦賞子准教授(クラウンブリッジ補綴学分野)が「令和5年度日本歯科理工学会論文賞」を受賞した。これは、令和5年度の日歯科理工学会和文誌ならびに英文誌に掲載された論文のうちで優秀論文と認定された

論文に贈られるもの。三浦准教授は今回の受賞について「本受賞論文は、3Dプリンター製ジルコニア造形物の機械的性質に対する低温劣化と造形方向の影響を検討した論文です。ジルコニア造形物は、造形方向に対して垂直に造形した場合に高い曲げ強さが得られましたが、低温劣化の影響は無視できる程度であることが示されました。造形後の洗浄、脱脂、焼結および色浸漬を含む全ての処理工程の最適化は、3Dプリンター製ジルコニア材料の臨床応

用のための要件であり、今後更なる検討を行っていく予定です」と話した。

＜受賞対象論文＞

The effect of low-temperature degradation and building directions on the mechanical properties of additive-manufactured zirconia
 著者名: Shoko MIURA, Akikazu SHINYA, Yoshiaki ISHIDA, Takafumi FUJITA, Pekka VALLITTU, Lippo LASSILA, Masanori FUJISAWA

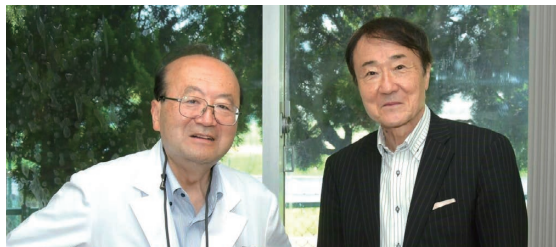
明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)田沼靖一特任教授が「次世代がん医療加速化研究事業」における研究を推進

明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)田沼靖一特任教授が、地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立がんセンターの研究開発分担者となり、「次世代がん医療加速化研究事業」における研究を進めている。

この研究事業は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)から宮城県立がんセンターに研究開発を委託しているものであり、田沼特任教授は同センターから再委託研究

開発を委託され、研究開発分担金の配分を受け研究を進めている。M-RIO所長坂上宏教授は「田沼先生は、長年にわたり、NAD⁺-ポリ(ADP-リボース)の代謝と機能の研究を続けておられます。この度の委託研究により、新しい視点から新規がん剤の開発に貢献できる可能性があります」と大きな期待を寄せている。

- ◆委託研究開発課題名
代謝合成致死による難治がん標的治療
- ◆再委託研究開発課題名
代謝阻害剤の開発



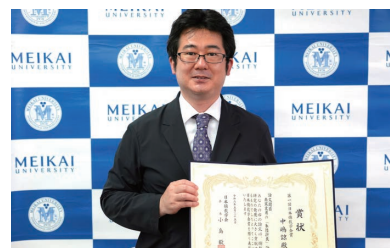
坂上宏教授(左)と田沼靖一特任教授(右)

中国語学科 中嶋諒講師が日本儒教学会賞を受賞

5月25日に開催された日本儒教学会2024年度大会において、外国語学部中国語学科の中嶋諒講師が「第1回日本儒教学会賞」を受賞した。この賞は、日本儒教学会が昨年5月に設けたもので、学会報に掲載された投稿論文から毎年優秀かつ、儒教研究の発展に大きく貢献しうるものに授与される。第1回表彰については過去をさかのぼり、学会報第1号から第7号に掲載された全

投稿論文を対象に、優秀な論文3本が選考され、中嶋講師の論文「南宋袁甫の「朱陸折衷」論」(『日本儒教学会報』第3号)がその1つに選ばれた。この論文は「中国南宋期の陸九淵後学の流れについて、新たな視角からの分析を行ったものとして注目される」などと称賛され、中嶋講師は、「陸九淵後学という、これまであまり注目されてこなかったテーマに関心が向けられたことは嬉し

い。このたびの受賞は、明海大学の恵まれた研究環境のおかげです」と、喜びと感謝の意を述べた。



「第1回日本儒教学会賞」を受賞した中嶋諒講師

地域学校教育センター主催

2024大学生と話そう会

5月26日、「2024大学生と話そう会」が開催された。このイベントは、高校生が在大学生との交流から大学で学ぶことの魅力や学生生活について理解を深め、連携高校との関係をより強固にすることを目的として、地域学校教育センターが主催となり2018年度から実施している。

今回は、都立飛鳥高校、都立南葛飾高校、都立葛西南高校、都立竹台高等学校の4校から44人が参加。同時開催されているオープンキャンパスでは教員や在大学生から話を聞いたり、学食を体験するなど、本学の学びの特色や学生生活を知る良い機会になった。昼食後は、本学の教職課程を履修している学生と外国人留学生がガイド役を務め、SDGsをテーマにしたグループディスカッションを実施。海洋

資源、貧困、教育などの問題の現状、その原因や解決策について高いレベルでの議論がなされた。また、将来教員をめざしている学生にとっては、高校生とコミュニケーションを取りながら

指導をするという実習さながらの体験となった。

明海大学はこれからも積極的に教育の場を提供することで地域貢献を行っていく。



集合写真

歯学部成績優秀者表彰



6年生の受賞者ら

5月10日、坂戸キャンパスで「2024年度歯学部学業成績優秀者表彰式」が行われ、前年度の学業成績が優秀かつ心身ともに健康であり、品行方正な各学年上位10人の学生(2年生については、当該年度入学者の上位10%)が表彰された。これは、学生の修学意欲の向上を図ることを目的に毎年行われているもので、今年度で40回目を迎える。今年度は合計56人の学生に坂英樹歯学部長より表彰楯が授与され、激励の言葉が送られた。

受賞した宮定雄一さん(歯学部6年)は「毎日の積み重ねの結果をこのような賞で評価していただけたことを大変光栄に思います。学生生活も残り少なくなってきましたが、再度気を引き締めて様々な分野の勉学に励み見聞を広めていきたい」と受賞の喜びと今後の目標を語った。

「2024アカデミーフェスティバル」に 歯学部の教員、大学院生らが参加



フェスティバル会場の様子

4月29日、川越アトレマルヒロで開催された「2024アカデミーフェスティバル」

に、歯学部の教員（総合臨床歯科学分野・口腔小児科学分野）、大学院生及びクリニカルリサーチ部員ら20人が参加し、来店者に対して口腔内細菌数測定・咬合力検査・口唇閉鎖力検査を実施した。

この催しは、アトレマルヒロに来店する近隣住民を対象としたゴールデンウィーク特別イベントとして、参加者がワークショップ等を

通じて“近隣大学等有する専門的な知識・技能”に触れることで、一人ひとりが「地域の未来」を考えることを目的とした企画となる。

本学は昨年に続く参加で、今年は当初の想定をはるかに上回る160人が参加する盛況ぶりとなった。参加者からは、「口腔内の細菌数にびっくりした」「咬合力が思ったよりあってホッとした」などの声が寄せられた。本学は今後も地域との連携を深め、地元へ貢献できる大学をめざす。

逢甲大学(台湾) 建設学院土地管理学科と本学不動産学部との交流会を実施

4月17日、台湾・逢甲大学の建設学院土地管理学科より、辛年豊学科長を始め6人の教員および関係者を迎え、本学不動産学部教員との交流会を実施した。

台中市にある逢甲大学は、台湾の私立大学でも上位に位置し、文系・理系の学部を備えた総合大学である。台湾の不動産業界は現在、バブルの様相を呈しており、そうした状況に対

する危機感なども、本学不動産学部との交流のきっかけとなった。

当日は中畠裕学長、中城康彦不動産学部長の歓迎のあいさつの後、両学部の将来的な交流のあり方や、交流に関する合意文書の内容について意見交換を行った。その後、不動産学部のカリキュラム紹介や、学内ツアーを実施し、歓迎会が開催された。また、本交流会では本学部卒業生の麻剣

英さん((公財)不動産流通推進センター 研究員/博士(不動産学))が中国語の通訳を担当した。



辛年豊学科長(左)と中城康彦学部長(右)

トゥルク大学の学生らが交換研修プログラムで来学

6月4日、5日、トゥルク大学(フィンランド)の学生2人および引率教員2人が、交換研修プログラム(※)により本学を訪れた。

4日は坂戸キャンパス(歯学部)を訪問。坂英樹歯学部長により来学を歓迎する意が述べられ、その後、横瀬敏志病院長らとのディスカッション、トゥルク大学のメンバー全員によるプレゼンテーション(タイトル: "To Japanese about Finland and Finnish people")が行われた。歓迎ランチパー

ティーには多くの学生・教職員が訪れ、法被姿の研修生らと互いに写真撮影を行う等会場は終始楽しい雰囲気包まれた。

5日は浦安キャンパスを訪問し、PDI浦安歯科診療所を見学した後、宮田淳理事長、中畠裕学長との懇談の場が設けられ、フィンランドと日本の違いについてなど、和やかに意見が交わされた。(※)交換研修プログラム: 歯学部では国際的な歯科医師を育成することを目的に、費用全額大学負担の海外研修

制度を設けるとともに、海外の各国姉妹校から交換研修生の受け入れもを行っている。



歓迎ランチパーティー後の一同

学内企業
セミナー

明海生を積極採用する企業を招く

5月21日・22日、6月6日・7日の4日間、浦安キャンパスで4年生を対象とした学内企業セミナーが開催され、延べ120人の学生が参加した。このセミナーは、様々な業界の企業の採用担当者が会社概要・仕事内容・採用情報などを学生に直接伝える場であり、例年多くの学生がここでの出会いをきっかけに就職活動を行い、内定を獲得している。

今年も明海生を積極的に採用したい多くの企業から本セミナーへの参

加希望の申し入れがあり、商社、IT、小売、福祉、不動産など多岐に渡る業種の企業が64社参加した。

学内で開催されるセミナーならではの企業を身近に感じられる雰囲気の中で、学生たちは積極的にブースを訪問し、熱心に説明を聞いていた。セミナーに参加した学生からは「企業の方に仕事内容、職場の雰囲気や採用人物像などを質問できたので、大変有意義だった」という声が聞かれた。

本学では、学生の就業意識を高め

るために1年次から4年次まで一貫して継続するキャリア教育を行っており、今後も万全の体制で学生たちのサポートをしていく。



採用担当者の話を熱心に聞く学生たち

就職ガイダンス | 大学3年生 就職活動の準備開始!

6月4日、浦安キャンパスにおいて「就職ガイダンスI」を開催。大学3年生を対象に「行きたい会社の見つけ



就職ガイダンスIの様子

方」をテーマとしてソーシャルデザイン研究所の福島直樹講師にご講演いただいた。このガイダンスは、就職活動の準備スタートとして重要な内容となっており、多くの大学3年生が就職活動を強く意識し、動き出す機会となっている。就職活動の準備として推薦しているインターンシップや業界研究は、本採用後の自身の思い描く就業内容とのミスマッチを防ぐための非

常に大切な機会であるため、ぜひ積極的に取り組んで欲しい。ガイダンスに参加した学生はインターンシップ先の業界・企業の探し方や業界研究のコツなどの話を熱心に聞いていた。

今後、本学では「就職ガイダンスII～IV」を始め、様々な就職支援イベントを開催し、筆記試験対策・エントリーシート対策・面接対策などで学生の就活スキルアップをサポートしていく。

歯学部

6年生父母懇談会を開催

6月1日、歯学部6年生父母懇談会が坂戸キャンパスで開催された。

歯学部6年生父母懇談会は、歯科医師国家試験に向けた本学の教育の進捗、また、ご子息、ご子女の学修指導状況や学生生活を報告する貴重な機会となっている。

坂英樹歯学部長の挨拶の後、日比野靖教務部長からは、近年の歯科医師国家試験の動向に加え、6年生の授業や試験の年間スケジュール、各試験の合格基準等について、詳細な説明があった。

次に山本信治第6学年主任からは、学生の学修指導・生活指導の状況等について報告があり、今後も学生・ご家庭・大学が三位一体となり国家試験に臨みたい旨の説明があった。

その後、アカデミックアドバイザーと個別面談が行われ、参加されたご父母の皆様は、真剣な表情で面談をされていた。参加者からは「歯科医師国家試験に向けた大学の取り

組みを詳しく聞くことができた」「担当のアカデミックアドバイザーから直接学修状況の話が聞けてよかった」などの声が聞かれた。

なお、今後の父母懇談会は10月5日、11月30日に開催予定である。



アカデミックアドバイザーと個別面談の様子

関東地区教育懇談会を開催

6月15日、浦安キャンパス教育後援会主催の関東地区教育懇談会が浦安キャンパスで開催され、当キャンパス

に在籍する1・4年生の保護者が出席した。教育懇談会は、保護者に大学の諸支援体制および学生の成績を始め

とする大学生活の様子を知ってもらい、学生へのサポートの参考にしてもらう機会となっている。全体会では、伊藤真教育後援会副会長からの挨拶に続き、二宮秀生副学長から「大学生活の4年間で

なりたいじぶんを見つけ、将来働くことの楽しみに繋げてほしい」と述べた。また、事務局からは大学の近況報告として就職支援行事スケジュール、修学支援業務年間スケジュール、海外留学・海外研修派遣及び体育会活動状況等について報告をした。その後、個別面談会は、体育館等に学科・担当教員ごとにブースを設けて実施した。授業の出欠や成績などの状況確認、その他の相談などが個別でできる担当教員との面談は、保護者の満足度が高く「大学での様子や成績について担当の先生から直接お話が聞けてよかった」「留学について、明海大学のサポート体制が確認できてとても安心した」などの声が聞かれた。



個別面談会の様子

オープンキャンパス開催報告

4月から6月にかけて、歯学部を含むすべての学部・研究科を対象とした「オール明海」でのオープンキャンパスを浦安キャンパスで3回開催した。4月21日および5月26日は、「大学発見」をテーマにオープンキャンパスが開催され、4月は2025年の入試スケジュールや入試のポイントを説明する「入試のポイント2025」、5月は大学の授業をひと足早く体験できる「体験授業」を実施した。6月18日は、「入試準備スタート」をテーマに、5月に引き続き大学での学びを感じてもらうための「体験授業」を実施したほか、入試概要についていち早

く解説する「入試ガイダンス」を実施し、メモを取りながら話を聞く参加者が多く見られ、関心の高さがうかがえた。

なお、今年度から浦安キャンパスでは、「MEIKAI課外活動LIVE!」と題し、学生の活動成果を披露する企画をスタート。本学の吹奏楽部やジャズオーケストラ部などの部活動による演奏が披露されている。

次回7月21日のオープンキャンパスでは、10月から始まる入試に向けて総合

型選抜(AO)の入試対策講座がスタート予定。引き続き、今後も充実した内容のプログラムを設定し、満足度の高いイベントを実施していく。



MEIKAI課外活動LIVE!の様子

Open Campus 2024

浦安キャンパス

オープンキャンパス10:00~14:30

要予約

外国語／経済／不動産／ホスピタリティ・ツーリズム／保健医療学部／
大学院（応用言語学研究科・経済学研究科・不動産学研究科）

7月21日(日)、8月3日(土)、8月4日(日)

8月18日(日)、9月8日(日)

お問い合わせ／企画広報課 TEL 047-355-1101

坂戸キャンパス 歯学部

オープンキャンパス10:30~

要予約

7月21日(日)、8月25日(日)、9月22日(日)

お問い合わせ／歯学部入試事務局
TEL 049-279-2852

各日程の特別プログラム等は本学公式HPをご覧ください。

<https://www.meikai.ac.jp>

※内容が変更となる可能性があります。



陸上競技部

関東学生陸上競技対校選手権大会で優秀な結果を残す!!

5月19日から22日にかけて、関東学生陸上競技対校選手権大会が国立競技場および日本大学陸上競技場で

開催され、本学陸上競技部が男子2部総合得点(48点)で6位、フィールド競技得点(42点)で2位の結果を残した。なお、7人の選手が上位入賞を収めた。

川幡 俊行 監督は「今大会は日頃の練習の成果が出せたと思います。入賞していない選手たちも記録が期待できる選手がいるので、秋シーズンに向けて練習していきます」と意気込みを語った。

川幡 俊行 監督は「今大会は日頃の練習の成果が出せたと思います。入賞していない選手たちも記録が期待できる選手がいるので、秋シーズンに向けて練習していきます」と意気込みを語った。

今後も体育会陸上競技部の活躍に目が離せない。



国立競技場で表彰式後の陸上競技部

《入賞選手一覧》

- 池上拓希選手(日本語学科4年)
男子2部三段跳2位入賞
男子2部走幅跳6位入賞
- 末木裕大選手(経済学科1年)
男子2部棒高跳2位入賞
- 松岡義人選手(経済学科2年)
男子2部砲丸投2位入賞
- 鈴木皓大選手(経済学部2年)
男子2部砲丸投8位入賞
- 橋本笙汰選手(経済学部2年)
男子2部円盤投2位入賞
- 西本勇希選手(日本語学科1年)
男子2部ハンマー投6位入賞
- 山崎健太選手(日本語学科4年)
男子2部混成(十種競技)3位入賞

ヨット部

2024年度関東学生ヨット選手権大会女子レース 総合2位!!

5月3日・4日の2日間、神奈川県の大磯町で開催された「2024年度関東学生ヨット春季選手権大会女子レース」で体育会ヨット部が見事総合2位の結果を収めた。

選手権大会」で470級が5位、スナイプ級が7位となり、総合6位の結果を残した。

この結果を受けて主将の船越七海選手は、「日頃の練習の成果が出た

レースになったと思う。優勝をめざしていたので、とても悔しいが、秋の関東インカレと全日本では優勝を狙いたいです」と語った。

レース前のミーティングでは、「各艇で上位をめざし、総合優勝をめざす」という意気込みで臨んだ大会であった中、470級では、松井愛海選手(日本語学科4年)・上西来実選手(英米語学科2年)が2位入賞、スナイプ級でも船越七海選手(経済学科4年)・福原奈波選手(日本語学科4年)・小本真耶選手(経済学科1年)が4位入賞と、風に悩まされながらも両艇とも上位入賞を果たし、総合成績2位を収めた。

また、同会場で5月5日・6日の2日間で開催された「関東学生ヨット春季選



表彰式後のヨット部